

野洲北中学校

コミュニティ・スクール 協働研修会

学校運営協議会委員×教職員

2025.7.29

一緒に子どもを育てるための対話の場

お互いの思いを知る

学校と地域が協働してできることを
考える



野洲北中学校区の地域・学校の“強み”と“弱さ”って何だろう？

学校運営協議会委員と教職員が、強みや弱さを話し合いました。地域の強みとしては、「コミュニティ・スクールに前向き」「若者が地域に多い」「企業が多い」「歴史がある地域」「地元で生まれ育った人が多い」や学校の強みとしては「同僚性◎」「教師と生徒の関係が良い」「教職員の実行力」「教員が協力しながら行事を作っている」「部活動が活発」「協力的な生徒保護者が多い」「子どもが落ち着いている」という意見が出ていました。

課題は、「若者は多いが行事には無関心」「子どもたちが地元に興味をなくしている」「人口移動が大きい」「地域の中に温度差がある」「教員の疲弊」「地域の活動や特色を知らない」「教師の多忙化」「教員の時間や余裕が少ない」「生徒の考える力が弱い」「部活と行事に追われる」「環境整備が不十分」などありました。

活かして
創る

アイデアを
創出

交流イベン
トを企画

「学校 DE お祭り」～コミュニケーションのために～

「西川貴教を呼ぼうの会」～まずは集客！～

「飛び出せ学校！」～地域に出かけて、良さを発見！～

「オール野洲北」～野洲北中でお祭りをする
出店、生徒が参画、人権学習の報告会～

「中学生が教える部活フェスティバル」～先輩が後輩に教える企画～

「地域と協働できるイベント企画」～生徒が企画
お祭り・バザー・運動会～

アイデア豊富な楽しい交流の場となりました。